



現在の貝塚中学校校門

# 育成だより

第13号

平成9年3月31日

貝塚中学校区  
青少年育成委員会

旧校門前

貝塚中学校区  
青少年育成委員会会長

田中 信夫

昨年七月に貝塚中正門脇のミニ開発問題が起き、校門前の通学路整備が緊急な懸案事項となりました。度重なる緊急会議を行ない、育成委員会・PTA・学校の総意の下に「教育環境として望ましいものに」「生徒たちが通学する上で安全であるように」「整備の早急な施策を講じるよう千葉市教育委員会

## 明るく安全な 通学路の確立に全力投球

に強く働きかけ、責任をもって整備して行くとの回答を得て、一月下旬から門柱の新設、フェンスの改修、植樹等の工事が始まり、去る三月の卒業式には、新しく整備された校門から十一回目の卒業生が巣立ちました。

千葉北バイパス新五十一号線全線開通も、貝塚中通学路信号機が三月三十日に完全設置となることになり、このことによって保護者並びに学校当局も大きな交通事故故の不安を解消することになりました。住民、保護者はこれで一安心となります。

本育成委員会は、地域社会の住み良い環境作りに地域の核としてその役割を果たして来ております。今後も「明るく安全な通学路の確立」に地域の皆様、PTA、各種団体の協力を戴きながら、全力投球で取り組んで参る所存です。

明るく挨拶を交わし、  
思いやりのある  
生徒を目指して



千葉市立  
貝塚中学校校長  
本保 弘文

本校は「豊かな心をもち、意欲的に学ぶ生徒を育てる」ことを教育目標とし、教育活動を展開しております。中でも、

- 一、他人を思いやる心
- 二、生命を尊重する心
- 三、感謝する心
- 四、みんなのために尽くす心
- 五、真理を追求する心

思いやりを育てる



千葉市立  
北貝塚小学校校長  
小澤 裕

本校は「生命を大切にし、自然を愛し、力を合わせて、明るく正しく生きようとする子ども」を「めざす

という「五つの心」を重視し、特に本年度は、ボランティア活動に力を入れてきました。

花を育て、公民館・区役所・社会福祉施設等に送る、加曽利貝塚・通学路等の掃除を行なう、学区の公園を拠点とし、周辺のゴミを拾う、朝、ゴミを拾いながら登校する等を行ないました。これらの行事は、有志を原則として実践してきましたが、多くの生徒が積極的に参加し、その広がりが見られました。

今後も、こうした活動を通して「五つの心」を基盤とした「心の教育」に力を入れていきたいと考えています。

児童像」として教育活動に取り組んでいます。具体的には「北貝塚小五つのめあて」として

- ① お友達と仲良く協力しましょう。
  - ② 安全に気をつけましょう。
  - ③ 物や生き物を大切にしましょう。
  - ④ 正しい言葉づかいをしましょう。
  - ⑤ みなりをととのえましょう。
- を掲げ、月ごとの生活目標・努力点と共に、日々点検し反省を加えな

相手を思いやり、  
共に楽しく



千葉市立  
桜木小学校校長  
清川 恒夫

第十五期中央教育審議会のまとめでは、これから求められる資質や能力を「生きる力」とし、その柱として、豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力を挙げ、「生涯学習社会」を見据えた学習の基礎的な資質の育成を重視しています。本校は、「のびのびすくすく思いやりのある子」を目標に、めざす子どもの姿として、

がら向上をめざしています。

地域との連携では社会人ボランティアの協力を得てのクラブ活動、運動会や北貝塚祭りへの就学前児招待、児童会による空き缶回収や地域の公園掃除などに力を入れています。さらに、児童が相手を思いやり、楽しく過ごせる学校づくりをめざして参りますのでご支援ご協力をお願いいたします。

- 考える子…自ら進んで考え、表現できる子ども。
  - なかよくする子…友達となかよくし、協力できる子ども。
  - きたえる子…からだや心をきたえ、ねばり強く行動できる子ども。
- を挙げ、全校でその具現化に取り組んでいます。社会の急速な変容により、環境はマイナスイメージの増大や複雑化していますが、諸活動の中で、「相手を思いやり、共に楽しく過ごせる子」の育成をめざします。



桜木小学校／6年生を送る会

ふれあい・会話で  
健全育成を千葉市立貝塚中学校  
PTA会長

日暮 規夫

中学校周辺の樹木にも新たな若葉が芽生える季節になりました。

二一八名の若人が無事に卒業式を迎え、夢と希望を抱きながら巣立つことができました。これも育成委員会をはじめ地域の皆様のご指導・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、昨今の子ども達を取り巻



貝塚中学校／3年生・苗木の植樹

く環境は余りにも開放的となり、

成長の段階で必要なものと不必要なものが情報として無制限に流れ出ております。この多くの情報を咀嚼して伝達することが私共の責務ではないでしょうか。その方法は地域や家庭等でのふれあい・会話が大切と思われます。その積み重ねによって、信頼関係が確立されると同時に地域の一員として健全な青少年の育成ができるものと確信いたしております。二十一世紀を担う若人のために今後ともご指導・ご支援をお願い申し上げます。

## 健全なる育成

千葉市立北貝塚小学校  
PTA会長

伊藤 清司

「子どもの為に」から「子ども達の為に」と、PTAの役員を引き受けて四年が過ぎようとしている。今頃になって、活動の原点が見えてきたような気がする。「学校側と遠慮なく物が言える関係が出来ているか」「何よりも事が起こった時、学



北貝塚小学校／田植え風景

校やPTAとしての体裁ではなく、真剣に子ども達の事を考えた行動がとれるだろうか」等々よくいわれる事であるが、子ども達の健全なる育成を第一とするPTAや育成委員会を今後も続けてほしい。

役員はボランティアであるといわれるが、他の為（己ではなく）に無償で活動する事が、本当のボランティアであろう。つい先頃では、重油流出事故でも多数の活躍が報告されているが、義務やうわべではなく真のボランティアが理解、協力出来るよう、また、ひとりでも多くなる様に、今後も社会教育活動に少しも役立ちたいと思う。

## 地域とのふれあい

千葉市立桜木小学校  
PTA会長

上野 慶明

吹く風も春めいて、日増しに暖かさを含んで参りました。平成八年度桜木小学校PTA会長の上野でございます。

さて、皆様もご存知の通り、桜木小学校区は、貝塚中と加曽利中の両学区に含まれています。私は、加曽利中育成委員会の方に所属しておりますが、非行対策部として、ピンクビラ等の撤去などの啓蒙活動、桜木小部会の「花いっぱい運動」などの活動をしてまいりました。皆様の常日頃のご協力とご理解を頂き、この様な活動ができ、感謝にたえません。

現在、この混沌とした世の中で、私共保護者は、地域の方々を含め、どの様にしたら、良くなるのか。また、次の世代を担う、子ども達に何を教え、何を残すのか。色々な諸問題が、出て来ています。私共PTAも、前向きな姿勢で、協力し合っていきたいと思っております。



# 青少年育成委員会 各部会活動報告

## 環境対策部会

夏と冬二回にわたって学区内全域パトロールを実施しました。

夏にはシンナー遊びの跡を見つけ、東警察に報告しました。冬には大部分の部会員が参加してのパトロールでしたが、特に問題のある箇所はありませんでした。

また、夏休み中各地域で開催された盆踊りの、会場周辺のパトロールを行ないました。会場での花火等が目につきました。

そして、育成委員一年生の私が何よりも強く感じた事は、何とか時間をやりくりして活動する地域の委員の方々の、子ども達に対するあたたかい気持ちの強さでした。

皆様ご多忙の中を本当にありがとうございます。（工藤 顕介）

## 交通安全部会

『モシモシ』は

車に乗る前降りたあと

交通安全とは、何でしょう。人と人との思いやりではないでしょうか。

「事故は無理から、過信から」交通规则を守り、明るい生活をしてみませんか。道路においても、横断歩道においても、「まあいいか」という気持ちで、事故の基です。パイパスの信号にしても、ほとんどの人が守っています。あなたは、守っていますか。

最近、思う事があります。朝、通学してくる小、中学生に「おはよう」と、声をかけると、子ども達からも、元気な声が、返ってくるようになります。かわい子子ども達を守るために、これからも、交通安全に努めていきたいと思います。（古田島成元）

## 非行対策部会

八月二十七日、午後五時三十分より、都賀コミュニティセンターにて、『子どもたちを非行から守る講演会と映画の集いを行いました。』

千葉東警察生活安全課より、いろいろ指導をいただき、大変有意義な集いでした。

また夏休みには、桜木方面、都賀方面と役員もふたてに別れて盆踊り会場をパトロールしました。

冬休みには全員で都賀駅前に集合し、ゲームセンター、カラオケ店、パチンコ店、公園、原陸橋下等、夜間パトロールを実施しました。

特に有害広告物、ビラの貼付は規制が強化され、環境への関心が深まったからか、昨年より浄化されてきたと思います。（梶原顕五郎）

## レクリエーション部会

会員の皆様の親睦を深め、育成委員会活動が円滑に実施できるよう、次のような活動を行いました。

◎グラントゴルフ大会

九月十六日 貝塚中学校・校庭

今回初めての試みとして、青少年相談員と合同の開催により実施しました。

（参加者百名）

◎研修旅行

十一月九・十日 一泊二日

高原千葉村にて実施しました。

（参加者四十八名）

◎ボーリング大会

平成九年二月二日 川鉄リバー

レーンにて、歓声上がるほどの熱戦が繰り広げられました。

（参加者三十九名）

各行事とも、多くの方々に支えら

れ、予定の活動を無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

（伏合 理）



高原千葉村／研修旅行にて

## 福祉部会

例年通り、夏休み及び冬休みを重点に、各学校と各地域の民生委員、保護司が提携して、左記の様な活動を実施しました。

夏休み 各委員の地域の盆踊りの会場の見回りと、地区の訪問活動を行ないました。

冬休み 各地域の民生委員及び保護司に、生徒及び父子・母子家庭を訪問し、励ましの声をかけて頂く様お願いをしました。（野村 啓二）

## 健全育成部会

当部会は夏休み期間中の補導活動及び、二月十五日に中学校PTA文化部との共催にて、千葉地裁調停委員島村チヨ先生をお招きし「育てよう思いやりの心」と題し講演会を開催いたしました。

関係各位のご協力大変ありがとうございました。  
この活動の中で感じた処を申し上げます。

## 貝塚中学校区青少年相談員 活動報告

## グランドゴルフ大会

平成八年九月十六日、育成委員会レクリエーション部、青少年相談員の共催でグランドゴルフ大会を貝塚中学校グラウンドで行ないました。今回は、育成委員、地区の方々、貝塚中学校の子ども達百名での大会となりました。

地区の方々も、童心に帰る子ども達と楽しく競技を行なっている姿を見て微笑ましく、また暖かい気持ちになりました。子ども達も最近では大人の方と競技をする事はほとんどないので、よい機会だったと思います。昨年とは

すと、盆踊り会場にての打上げ花火の販売、開催時刻が午後十時を超える会場等、今後関係自治会との調整が必要と考えます。

また、無灯火自転車が多い事に驚きました。

自動車との事故の発生等、自らが危険なだけでなく加害者の側に廻る場合もあります。

各家庭での充分な注意を求めたいと思います。  
(田中 祥孝)

少し違った大会でしたが、無事に楽しく大会が開催できた事を、育成委員、相談員一同、大変喜んでおります。



## ボランティア活動を通して



千葉市立貝塚中学校  
生徒指導主任  
廣澤 文彦

貝塚中学校では、本年度から千葉市教育委員会から「ボランティア推進校」の指定をうけました。

昨年度まで行なっていた加曽利

貝塚などの清掃活動、近隣の福祉施設への花の贈呈、福祉講話などをボランティア活動の一環に組み入れ、計画的に実施してきました。

活動の中心は次の四つです。

- ①花のボランティア
- ②全校一斉のゴミ拾い
- ③下校時のゴミ拾い

## ④登校時のクリーン作戦

その他に、校内の活動として、朝のあいさつ運動、校門前の美化活動、除草作業、福祉講話を実施しました。

「ボランティアとは？」から始まった一年でしたが、生徒たちの中に「何かをやるう」「何かができる」といった気持ちが出てきたように感じられます。来年度は、活動の計画から生徒の考えがだせるように発展させて行きたいと考えています。

本校では、このようなボランティア活動を中心として、「心の教育」を心掛けています。この活動は、家庭や地域の方たちのご協力により、達成されるものと考えます。

これからも皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

## 平成8年度 標語コンクール参加作品 (佳作)

千葉市教育委員会・千葉市青少年連絡協議会 主催

自然破壊 地球の服が ぬげていく

貝塚中 三年 戸村 陽介

ごめんなさい この一言が いいづらい

貝塚中 三年 中村真由子

## 島村チヨ先生講演会

平成9年2月15日／会場・貝塚中図書館  
貝塚中PTA文化部・育成委員会健全育成部会 共催



せん。先生が直接炊いた温かい赤飯を食べさせた事に始まり、世にいう3Kを先生流に、希望、工夫、感謝に置き換え取り組まれている話。そしていじめの根本は、家庭にある。命令、指示、禁止ばかりでは親子の交流、信頼関係は生まれてこない。それよりも日常親自身が迫力ある生活をし、迫力ある子育てをする事がいじめを減らせる。そんな家庭環境なら自己防衛能力も身につくだろうし、現実を直視し、決して逃げず、苦しみを克服する勇氣も育まれるのではないかと。まさにその通りでしょう。

## 島村チヨ先生の講演から

小塚 興作

いじめから不登校となった少年が立ち直り、その後も続きたいじめを「自分に与えられた試練である」とまて言わしめるまでになった話。とても感動いたしました。

そこに至る過程には少年の心の葛藤、努力は勿論ですが、先生の大きな愛が作用した事は想像に難くありません。

終りに先生の五原則

- 一、素直
- 二、謙虚
- 三、自己制御
- 四、ポジティブ
- 五、感謝

これを私も生活信条として心に留めたいと思いました。

## 講演会を聞いて

小林久美子

北風の吹く寒空の中、講演会が開かれた。島村チヨ先生のお若いこと、お元氣なこと、そして情熱的なこと……。目的を持って生きておられることはそれだけで人に感動を与える。

演題「育てよう思いやりの心」老いたる者への優しい心。弱き者への労りの心。簡単そうで難しい。実行するのは氣恥ずかしい。特に日本人は……。島村先生はこれを海外で体験されたとか。前後して開かれた若葉区PTA連合協議会講演会で、徳永隆憲先生が金子みすずの「みんなちがってみんないい」の話をされた。思いやりの心も、



「みんなちがってみんないい。」どんな形でも気持ちの中にある人を思いやる心が形として表われたら日本はまた救われると思う。

また島村先生は山歩きが好きで知られるとか。旅という舞台へ自分を乗せて熱くまた冷静に自分を見つめて語られる姿に感動を覚えた。いつまでもお若く「自分探しの山登り」を続けたいと思う。

## 編集後記

春は別れと出会いの季節、みなさんはどのような「春」をお迎えでしょうか。新メンバーでスタートし、四苦八苦しながら発行することができました。ご協力ありがとうございました。

広報部一同

